

**Q12** 株が変わると接種回数が変わるのですか。

**A**

ワクチン株が変わっても、基本的に13歳未満は2回、13歳以上は1回又は2回であることには変わりはありません。65歳以上の人は1回接種で十分効果があるという報告から高齢者では1回接種でよいことにも変わりはありません。しかし、13歳以上65歳未満の人については十分な調査がありませんので、接種を受ける人のワクチン歴、罹患歴をみながら接種医師が判断するということとなります。ウイルスの抗原変異が大きかった場合は2回接種が必要となる場合もあります。これまで7シーズンH1N1亜型のワクチン株として使用されてきたA/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) は、2007/08シーズンからA/ソロモン諸島/3/2006 (H1N1) に変更になり、2008/09シーズンはA/ブリスベン/59/2007に変更となりました。2005/06シーズンに流行し、2006/07シーズンのワクチン株に決まったA/広島/52/2005 (H3N2) は、2007/08シーズンも引き続きワクチン株として用いられていましたが、2008/09シーズンはA/ウルグアイ/716/2007に変更となりました。また、B型も流行の中心が山形系統株からビクトリア系統株に変わったことにより、2006/07シーズンにワクチン株がB/上海/361/2002 (山形系統株) から、B/マレーシア/2506/2004 (ビクトリア系統株) に変更になりました。2007/08シーズンもそのままB/マレーシア/2506/2004がワクチン株として用いられていましたが、流行の主流が山形系統株に変化してきたことから、2008/09シーズンはB/フロリダ/4/2006 (山形系統株) に変更となりました。しかし、一般的には1回の接種で十分であると考えられます。

#### インフルエンザHAワクチン製造株

	A型株	B型株
平成10年 (1998)	A/北京/262/95 (H1N1) A/シドニー/5/97 (H3N2)	B/三重/1/93
平成11年 (1999)	A/北京/262/95 (H1N1) A/シドニー/5/97 (H3N2)	B/山東/7/97
平成12年 (2000)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/パナマ/2007/99 (H3N2)	B/山梨/166/98
平成13年 (2001)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/パナマ/2007/99 (H3N2)	B/ヨハネスバーグ/5/99
平成14年 (2002)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/パナマ/2007/99 (H3N2)	B/山東/7/97
平成15年 (2003)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/パナマ/2007/99 (H3N2)	B/山東/7/97
平成16年 (2004)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/ワイオミング/3/2003 (H3N2)	B/上海/361/2002
平成17年 (2005)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/ニューヨーク/55/2004 (H3N2)	B/上海/361/2002
平成18年 (2006)	A/ニューカレドニア/20/99 (H1N1) A/広島/52/2005 (H3N2)	B/マレーシア/2506/2004
平成19年 (2007)	A/ソロモン諸島/3/2006 (H1N1) A/広島/52/2005 (H3N2)	B/マレーシア/2506/2004
平成20年 (2008)	A/ブリスベン/59/2007 (H1N1) A/ウルグアイ/716/2007 (H3N2)	B/フロリダ/4/2006